

本院で腹腔鏡下^{たんのう}胆嚢摘出術を受けられた患者さん・ご家族の皆様へ

【研究課題名】

腹腔鏡下胆嚢摘出術における人工知能を用いた^{はんこん}癒痕化領域推定システムの開発

【研究の対象】

この研究は以下の方を研究対象としています。
2010 年 1 月～2023 年 3 月に当院腹腔鏡下胆嚢摘出術の治療を受けられた方

【研究の目的・方法について】

急性胆嚢炎に対する腹腔鏡下胆嚢摘出術（LC）において組織の癒痕化領域を把握することは、合併症を予防し安全な手術を行うために重要であるとされております。

本研究では、LC における人工知能を用いた癒痕化領域推定システムの開発を行います。

研究期間：2023 年 11 月 8 日～2027 年 3 月 31 日

【使用させていただく試料・情報について】

本研究で使用する情報は、本研究の対象となる患者さんのカルテに記載されている情報です。本研究に関わる関係者は、被験者（患者さん）の個人情報保護について適応される法令および条例などを遵守し、研究責任者が、患者さんの情報を管理する際には、連結可能匿名化（必要な場合に個人を識別できるように、その人と新たに付された符号又は番号の対応表を残す方法による匿名化）を行うために新たに被験者識別コードを作成するなど、大切な患者さんの個人情報が守られるよう最大限の努力をさせていただきます。しかし今回の本ホームページをご覧になって質問などがある場合はお気軽に下記の「問い合わせ・連絡先」にご連絡をいただければ責任者が詳細について説明させていただきます。なお、患者さんの個人情報は削除し、特定の個人が識別できないよう加工して、プライバシー保護には細心の注意を払います。

【使用させていただく試料・情報の保存等について】

本研究に使用した情報は、論文発表後 10 年間、大分大学医学部消化器・小児外科学講座にて保存いたします。保存期間終了後は個人を識別できる情報を取り除いた上で廃棄します。

【外部への試料・情報の提供】

外部への試料・情報の提供は予定していません。

【患者さんの費用負担等について】

本研究を実施するに当たって、患者さんの費用負担はありません。また、本研究の成果が将来薬物などの開発につながり、利益が生まれる可能性があります。万一、利益が生まれた場合、患者さんにはそれを請求することはできません。

【研究資金】

本研究においては、公的な資金である大分大学消化器・小児外科学講座基盤研究費を用いて研究が行われ、患者さんの費用負担はありません。

【利益相反^{りえきそうはん}について】

この研究は、上記の公的な資金を用いて行われ、特定の企業からの資金は一切使いません。「利益相反」とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭および個人の関係を含みますが、本研究ではこの「利益相反（資金提供者の意向が研究に影響すること）」は発生しません。

【研究の参加等について】

本研究へ診療情報を提供するかしないかは患者さんご自身の自由です。従いまして、本研究に診療情報を使用してほしくない場合は、遠慮なくお知らせ下さい。その場合は、患者さんの診療情報は研究対象から除外いたします。また、ご協力いただけない場合でも、患者さんの不利益になることは一切ありません。なお、これらの研究成果は学術論文として発表することになりますが、発表後に参加拒否を表明された場合、すでに発表した論文を取り下げることはいたしません。

患者さんの診療情報を使用してほしくない場合、その他、本研究に関して質問などがありましたら、主治医または以下の照会先・連絡先までお申し出下さい。

【研究組織】

	所属・職名	氏名
研究責任者	大分大学消化器・小児外科学講座 教授	猪股 雅史

研究分担者	大分大学消化器外科	講師	遠藤 裕一
	大分大学消化器外科	助教	平下 禎二郎
	大分大学消化器外科	医員	折本 大樹

【お問い合わせについて】

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住 所：〒879-5593 大分県由布市挾間町医大ヶ丘 1-1

電 話：097-586-5843

担当者：大分大学医学部消化器外科 折本 大樹（おりもと ひろき）